

・2/19 (水) 10時〜 会場 静浜分教会  
新旧役員引継ぎ

・ハープの会 1月28日(火) 10時 ZOOMで例会  
・女子青年 1月は休会  
2月22日(土) 14時〜 紙刺繍作り 濱東分



女子青年紙刺繍制作の様子。(写真上)  
教区少年会総会支部担当下り目。(写真下)

◆青年会・献血担当… (㊟杉本真俊委員)

1月 献血呼びかけひのきしんは休会

◆広報庶務部・社友会… (㊟山口正洋委員)

・ふれあい折り込み2月は5組です。

◆時報手配り… (㊟澤田常和委員)

・1月は10・17・24日が拠点教会到着日となります。お間違えの無いようお願いいたします。

◆少年会… (㊟小田木智嗣委員)

・静岡教区少年会総会 参加有難うございました。

◆学生担当… (㊟森田直晃委員)  
ワーク&トークinおちば 参加有難うございました。

◇1月定例支部活動

◆合唱団アヴァンティ練習日

とき 立教188年1月8日・15日

2月5日・19日

会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会… (㊟金原泰彦委員)

日時 22日(水) 9時15分〜12時

会場 遠州分教会

講話 吉岡弘和先生

三年千日の締めくくりのこの一年、本年もよろしく願っています。

◇定例委員会・例会

◆運営委員会… 西大濱分

とき 2月2日(日)

9時30分

当番委員 板山真一委員

◆青年会献血… 休会

とき 1月18日(〇) 10時

◆婦人会… あらたま庵

とき 1月30日(木) 11時〜

◇各組活動

【1組】… 組長 鈴木 豊司(濱東)

〈配本・集金〉 1月28日(火) 濱東

〈合同会議〉 2月5日(水) 休会

〈ひのきしん〉 12月〜3月まで お休み

【2組】… 組長 渡邊英一郎(濱松)

〈配本・集金〉 2月6日(木) 午前中

【3組】… 組長 長田 虎夫(濱都)

〈配本・集金〉 1月29日(水) 10時〜 濱都

〈ひのきしん〉 日時未定 曳馬

【4組】… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 2月9日(日) 9時30分 四日市浜

【5組】… 組長 古山 慶仁(濱宿)

〈配本・集金〉 1月28日(火) 11時 濱宿

新年会

【6組】… 組長 宮本 善成(長上)

〈合同会議〉 2月9日(日) 18時30分 移動例会

【7組】… 組長 太田 貴之(濱名)

〈組例会〉 2月9日(日) 10時 篠原

ふれあい

2025年 1月号 No.485  
よもと部 西遠支

そのはづや月日たいない入こんで  
はなしするのはいまはじめて  
第八号—50

新年のご挨拶

西遠支部長 杉本和弘



立教百八十八年の新春を迎え、あけましておめでとうございませう。  
支部内の皆様には、昨年はそれぞれのお立場におかれまして、「ようぼく活動日」などの諸行事にお力添えを頂き、誠にありがとうございます。  
本年も昨年同様、皆様のお力を頂きながら、支部活動を進めて頂きたいと思っております。何卒よろしくお願い致します。  
昨年の正月には、能登半島地震が起き、新春を迎えた晴れやかな時を、打ち砕かれた状況でした。

災害救援ひのきしん隊も、全教区が随時出動、静岡教区隊も出動しましたが、テレビ報道などは、時の流れと共に少なくなり、忘れられそうな状況です。大雨洪水などの被害も重なり、現在も多くの方々が、避難生活を送られていることなども意識して、皆様と共に心を離さず、心を尽くして行きましよう。  
ふれあいに原稿を打ち込んでいます。今年も流行語大賞、今年度の漢字など(他にもあります)が、年末恒例のイベントを目標にします。一方で世界に目を向けられ、戦争がいまだに続き、

多くの罪なき方々が命を失う現状。トランプ氏のアメリカ大統領当選と、世界経済への影響など、生活に関わる様々な事態やニュースについて、評論家たちが、未来予想の議論を交わしています。私たちには、直接関りが無いようにも感じますが、これからの時代を生きる若者にとっては、大いに影響を及ぼす一年になるかもしれません。  
現在お道は、皆様ご存じの通り教祖百四十年祭の期間であり今年も三年目の年であります。  
昨年、本年秋季大祭において真柱のお言葉で、能登半島地震に触れつつも最後に「三分の一残っている三年千日を勇み心を奮い起こして通る」また、「年祭の当日おちばに帰ってきてても

来なくても、その日を嬉しい心で迎えることができるよう」とのお言葉でした。  
教祖のお言葉に、「子供の方から力を入れてきたら、親も力を入れてやらにやならん。これが天理や」とあります。また「かみの方には倍の力や」とも『稿本天理教教祖伝逸話編』  
75・118  
勇み心は自分から作り出さなくてはなりませんし、また、勇んだ姿は、周りに明るい光を照らして行きます。では、何からしていけば良いのでしょうか。  
まずは自分が続けられる事を、今からでも、残り三分の一歩ませて頂ければ、教祖も喜んで下さるのではないかと思います。  
まずは4月29日の、「全教一斉ひのきしんデー」に、そして5月31日には、「ようぼく活動日」にご参加下さいますようお願いを申し上げます。

それでは、精子と卵子の23本の染色体は、どうして作られるのでしょうか。

精子も卵子も精母細胞、卵母細胞から作られます。この精子や卵子の母親になる細胞は、23組、46本の染色体を持っています。この染色体は受精卵の23足の靴下を、そのままコピーしたものです。この精母細胞や卵母細胞が、精子や卵子になる時に、染色体はそのままコピーされるわけではありません。精子や卵子は、各々の母親の細胞の染色体の各組の、どちらか一つを持って作られるのです。即ち、23足の各靴下の、どちらか一つを持って作られるのです。ですから染色体は、46本の半分、23本になるのです。染色体の数が減るのです。精子や卵子の出来ることを、減数分裂というのです。

### 男と女の誕生 — その4

そうしますと、各組のどちらの染色体を取るかで、精子の持つ遺伝情報が少しずつ違って参ります。靴下の右を取るか、左を取るかで、内容が違って参ります。ということは、精子の持っている遺伝情報は全く同じではなく、少しずつ違って参る、ということになります。

わせで、簡単に計算出来ます。23組の各組のどちらかを取る種類の数は、2の23乗ということになります。1千万より少し少ない数になります。なんと精子には、これだけの種類があるのです。卵子にもそれだけの種類があるわけです。この数多い種類の、精子と精子の中のそれぞれ1個ずつが組み合わせられて、一人の子供が出来るのです。

そういたしますと、1組の夫婦から、遺伝情報に関して、何種類の異なった子供が産まれる可能性があるのでしょうか。答えは簡単です。2の23乗掛ける2の23乗、すなわち2の46乗ということになります。数字にしますと、72兆ほどになるのです。有性生殖、すなわち、夫婦で子供を産むということは、こんな素晴らしい働きがあるのです。リコピートの損じ、すなわち作り間違いではなくして、正常に、堂々と子供を産んで、こんなにも多くの種類の子供を産むことが出来るのです。これを生物の多様性と言います。

私ども人間は、一卵性双生児を除きますと、同じ人は二人とありません。現在、人類の数は約47億です。（1984年放送当時）この47億の

人間は、人間であることにおいては同一ですが、各人は皆必ず、他とはどこか違った特徴を持っているのです。

地球上に現在、約25万種の生物がおります。この絢爛たる生物の多様性は、有性生殖、夫婦で子供を産む、という働きが土台になっているのです。もちろん、魚から虫、鳥、畜類、サルからヒトへという生物の大進化においては、突然変異という大きな作り間違いが関与していたかもしれません。しかし、生物進化という命の歴史の土台、それは有性生殖にあるのです。46億年前の地球が、10億年の科学進化を経て2種類の原核細胞、藻と細菌を生みました。この2種類の原核細胞は、有性生殖が出来ず、ただ徒に自己複製を繰り返し、その数だけを増やして行きました。この細胞が有性生殖をするためには、まず核を持った化石細胞を見つけたことが必要です。次に、核を持った細胞が、即ち雌性性、男女の性別を持っていることが必要です。そして、この真核細胞が細胞分裂、特に減数分裂する鉦鼓が見いだされた時、この地球上で、有性生殖が行われたということが出来るでしょう。

【続く】

山本利雄先生 〈ラジオ講話〉

### 「いのち」 - 9

## 支部だより

立教 188年 R7.1 NO.591

#### ◆表統領挨拶

今年は何日から大きな災害を見せていたか状況で始まり、それから1年間が経過して早いものと思えます。年祭活動も最後の3年目の年を迎えるわけでありますが、年の変わり目に良い仕切りをしつかりして、仕上げの年が仕上げの年になるように仕上げようという気持ちが必要で、そのようには進まないわけでありませぬ。何を仕上げなのか、ということが仕上げなのか、そのような話が出てこなければ、仕上げという言葉が生きてこないと思うのです。

2年目が終わって3年目になりますが、これからスタートされる方もいるのかもしれないので、3年目が仕上げという言葉で一つに括るわけにはいきませぬ。しかし、やはり気持ちとしてはそういう思いを持って、それが勇みに繋がっていくように、一手一つに繋がっていくように、丹精をお願いいたします。

年の変わり目が良い仕切りとなつて、また新たなスタートができるようにお願い申し上げます。本当年に今年一年、改めまして本当に色々ありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ◆本部・教区事項

第3回	「ようぼく一斉活動日」の集計
全教会	746会場 62.527人
教会長	8300名
1回目	738会場・74806人
2回目	751会場・67900人
静岡教区	20会場 1.694人
教会長	234名
1回目	18会場・2153人
2回目	19会場・2025人
2回目より	約5000名減少。
来年、4回目、5回目と、	2回行わせていただきます。

ポスター、チラシの配布  
大勢の方にご参加していただき、心豊な年祭活動の実践に向かってもらいたい上から、もう1度、主に各教会から動員の努力をお願いいたします。  
ポスター 全教会及び教区に配布  
チラシ 一教会20部ずつ配布  
教区・支部は、参加者名簿を使って声掛け。以前の支部行事で把握していながらも参加していない人にも声掛けを。  
「ようぼく一斉活動日」自主プログラム講師派遣（会場の希望により、講話やおてふり講師）  
会場ごと自主プログラムを工夫し充実してきているが、一部には4回、5回目に何をしたら良いのか悩み、行き詰まっているような会場もあるように聞きます。その対応

#### ◆支部事項

◆布教部……………（◎長田虎夫委員）

◆派遣講師  
本部在籍者（本部長、准員）、たすけ委員会委員

◆教務部……………（◎吉岡弘和委員）

◆ひのきしん部……………（◎木船嘉弘委員）

◆婦人会……………（◎木船真澄委員）

◆婦人会初例会 1月30日（木）11時  
場 所 「あらたま庵」（浜名区平口224-1）  
参加費 2000円 送迎レイン10時20分  
発 1/17までに婦人会各組長さんまでお申し込みください。多くのご参加をお願いいたします。